

明るく元気の出る町

平成12年12月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2000

12

NO.549

とっぴんぱらりのさんしよの実

11/22福祉と健康のつどい
において、本荘由利のボラ
ンティア活動実践者が昔語
りの実演を行いました

(関連記事10ページ)



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

秋まつり2000

20世紀を締めくくると『収穫』と『文化』の祭典

十月二十八日、二十九日の両日、健康増進センターを主会場にして「秋まつり2000」が開催されました。今年のめだまは、土曜の夜に行われた岩本公水さんのオンラインステージと、日曜日に行われた仮面ライダークウガショー。岩本さんはおとなり羽後町出身の有名な演歌歌手とあって、町外からもたくさんの観客が訪れ、会場となった東由利中学校の体育館は超満員となりました。また、クウガショーは二回目のショーの後には会場の子供たち全員と記念撮影が行われ、写真は「ふれっそ」に展示しプレゼントされました。

▶大熱唱の岩本公水さんに会場も熱気いっぱい



▲岩本公水さんのステージ会場は超満員



▶今年もたくさんの作物と作品が集まりました



▶野焼き作品がズラリ。みんなうまく焼けたかな？



▲生徒達の作品はどれも個性が光ります

秋まつり2000作品表彰 (敬称略)

■一般展示物・町長賞

- ▶水稲・畑作部門～ミニトマト／長谷山カツ (湯出野)
- ▶花卉部門～バラ／佐々木精人 (大琴)
- ▶果実・林産部門～リンゴ／畠山耕輔 (館合新田)
- ▶農産加工部門～かたくり／佐藤ミツ (新処)
- ▶葉たばこ部門～葉たばこ／小松兵亮 (館合新田)
- ▶手工芸部門～エプロン／村上主江 (石高)
- ▶料理部門～栗イガ揚げ／大琴女性部
- ▶野の花部門～大琴フレッシュ部

■シルバー創作展・金賞

- ▶野菜の部○カボチャ／遠藤昭一 (宿紅葉会) ○キャベツ／小野作平 (田代福寿会) ○白菜／小松ミチ子 (田代福寿会)
- カラトリ／村上セキ (田代福寿会) ○ネギ／小野豊二郎 (蔵壮寿会)
- ▶工芸の部○腰かけ／池部ハルヨ (袖山長寿会)
- ▶盆栽・菊の部○菊／佐藤実 (黒淵福寿会) ○盆栽:松／森川昭児 (老方敬寿会)
- ▶果実酒・食品加工の部○キリボシ大根／佐藤ヨシノ (黒淵福寿会) ○ナスの餅米漬／佐藤タケノ (田代福寿会)
- ▶和服の部○裕／長谷山フサ (館合第二寿会)
- ▶造花・手芸の部○足袋／小松ミチ (館合第二寿会) ○パッチワーク (のれん)／小松エイ (館合第二寿会)
- ▶ちぎり絵・はり絵の部○ちぎり絵／森川イク (老方敬寿会)
- ▶果実・穀類の部○りんご (ふじ)／小松茂 (老方敬寿会)
- 栗 (筑波)／佐藤盛永 (館合第一寿会)
- ▶わら工芸品の部○ネコゲラ／横山トクエ (黒淵福寿会)

▲展示された作物を手に取り出来栄に感心



◀歌い始めれば気分はプロの歌手



◀保育園の給食コーナーはいつもよりおいしいかな？



▲クウガが会場の良い子と握手してくれました



▲仮面ライダークウガは正義のために悪をたおすぞ

東由利の特産品が大好評

十一月二十三日、道の駅内ふれあいプラザ「ふれっそ」前で今年も東由利町特産品フェアが行われました。

当日は、晩秋の晴れた天気、少し肌寒い気温でしたが、道の駅は祝日のドライバーや家族連れの町民でにぎわい、おとずれた人はたくさん用意された特産品の試食を楽しんでいました。

フェアにならんだ特産品は、フランス鴨、ずっぱり漬け、黄桜もち、



▲そばうち体験コーナー。もっと力を入れて



▲お土産に好評だった八塩そば



▲地場産ずっぱり漬けも大好評でした

東由利町特産品フェア

由利牛、やしおそばなど。なかでも今年新しく特産品に加わったやしおそばはなかなかの好評で、試食をしたお客さんが帰る姿にはおみやげに買った袋が目立ちました。

町長日記

フランス鴨 ワインパーティー

十一月二十五日、フランス鴨生産組合の主催によるフランス鴨ワインパーティーが有鄰館を会場に開かれました。今年も二百人を超える皆さんが参加されました。

このパーティーは、お隣の大森ワインの新酒祭りに同生産組合が招待されたことに感激して自分たちもと発奮、また大森ワインにエールを送るという意味もこめて始めたもので、今回で七回目にもなりました。今では春の大森町の新酒ワインパーティー・秋の本町のフランス鴨ワインパーティーと定着して来ており、近年は本家の大森ワインパーティーをしのぐほどの人気になってきました。

この会に参加するには五千円のパーティー券の購入が必要です。生産組合によると有鄰館の会場が狭いために券が手に入りにくくなっており、もっと多くの皆さんにフランス鴨と大森ワインを賞味してもらいたいと残念がるほどの盛況ぶりでした。

このパーティーの参加者は、幅広く町内外各界各層にわたり中々面白い個性ある皆さんであります。本家筋の備前大森町長さんが毎回出席してくれるのはやや当然としても、今年も隣町の佐藤正一郎羽後町長さんや阿部満由利町長さんも奥さん同伴でご出席されました。そして各町からはパーティーのお楽しみ抽選会の賞品にと特産物が持

ち寄られました。私もいろいろな会に招待されるのですがこのパーティーは特別に楽しい会であり、隣町の町長さんたちの様子を見ると同じ気持ちであろうと思われました。

詩人のあゆかわのぼるさんもこのパーティーのファンで、終了後に行われるスタッフの慰労会にも参加され、そのまま泊まって行くというほどのほれ込みと聞きました。

いつも参加者の約半分は女性たちで、今回もフランス鴨を肴に大森ワインをおいしそうに飲む姿が見られ、私はウィロン茶を飲みながらうらやましく眺めたところです。

フランス鴨料理は、温泉保養施設「湯楽里」の斎藤料理長がいろいろ苦心し腕を振るったハンバーグ、シウマイなどが新メニューとして追加され好評を博していました。

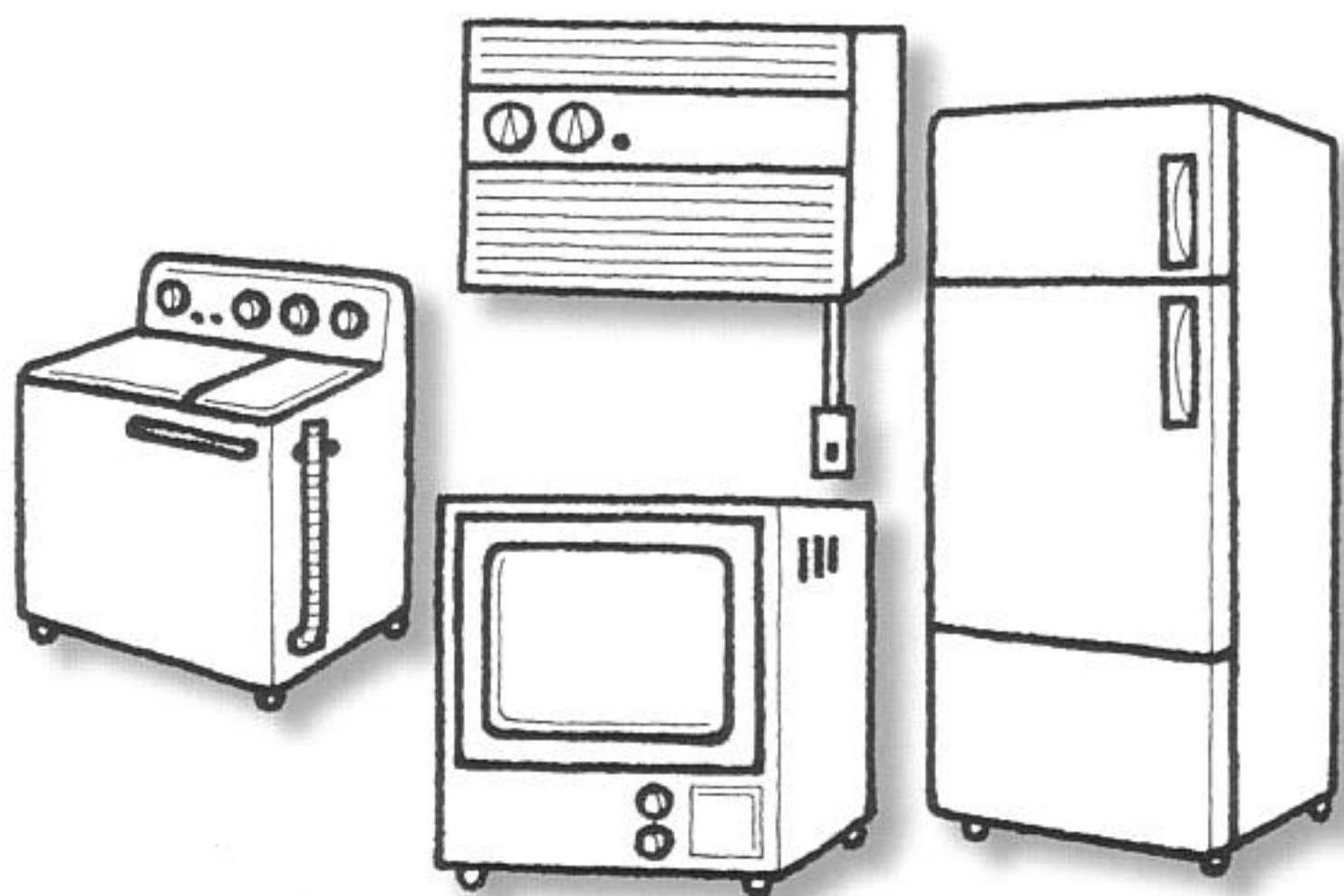
開会時、長谷山憲一組合長さんに次いで挨拶をしました。「今年もフランス鴨組合の皆さんの頑張りのお陰で楽しむことができます。特産物と簡単にいいますがなかなか大変なことです。生産組合の頑張りに心から敬意を表します。温泉保養施設「湯楽里」の料理長による腕を振るってのフランス鴨料理も出ております。まずかつたらはつきりと言ってください」と自信をもって申し上げました。

大汗をかきながら懸命に頑張つて元気をくれるフランス鴨生産組合はじめ、スタッフの皆さんに心からなる感謝を申し上げます。

来春から家電リサイクル法がスタート

家電の再資源化にご協力を

来年四月から家電リサイクル法が施行されます。これにより、今まで粗大ごみとして収集していた冷蔵庫、テレビ、エアコン、洗濯機の四品目の廃家電製品は、料金を支払って処理することになります。収集された家電製品は、家電メーカーなどが責任をもってリサイクルを行うことになりますので、皆様のご協力をお願いします。



廃家電をリサイクル 粗大ごみを資源に

家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）は、家電製品の適正な処理と資源の有効活用を図ろうと始められる制度です。これによって、家電を製造するメーカーや小売店が協力し、使わなくなった家電製品を資源としてリサイクルします。このため、冷蔵庫、テレビ、エアコン、洗濯機の四品目の廃家電製品を処分するときは、回収や運搬を小売店などに依頼し、処理することになります。

町の粗大ごみ収集量の推移 (t)



町ではこれまで、この四品目を粗大ごみとして収集していましたが、来年度からは家電リサイクル法の施行に伴い、四品目は粗大ごみの収集品目から外れることになります。

運搬と再商品化 引き取りは有料に

家電リサイクル法では、四品目の家電製品を買い換える場合、過去に購入した対象機器は小売店で引き取ることになっています。

このときには再商品化のための費用と運搬料金を負担することになります。

ごみの減量に期待 反面、不法投棄の心配も

町の粗大ごみ収集量は、増加傾向にあります。中でも平成十一年度の場合は、粗大ごみ収集量のうち四品目の家電は約一割を占めております。この傾向は全国的なもので、家電リサイクル法はごみの減量につながるものと期待されています。

また、家電の処理に新たな負担が加わることから、不法投棄の増加も心配されています。町では平成五年八月から東由利町環境巡視員制度を定めており、不法投棄の防止に活躍しています。

◆家電リサイクル法の問い合わせ
町民課生活環境係（69・2117）

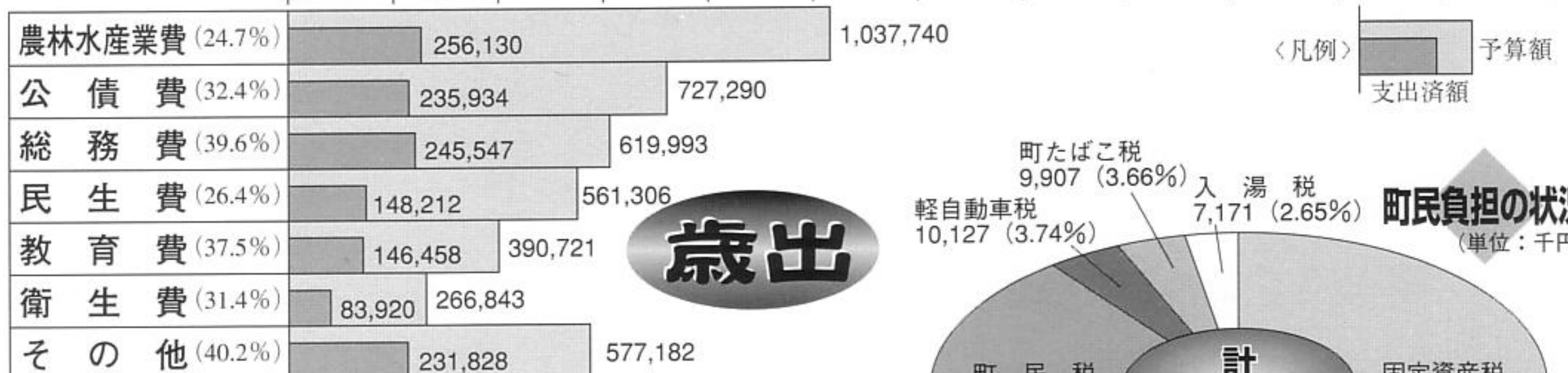
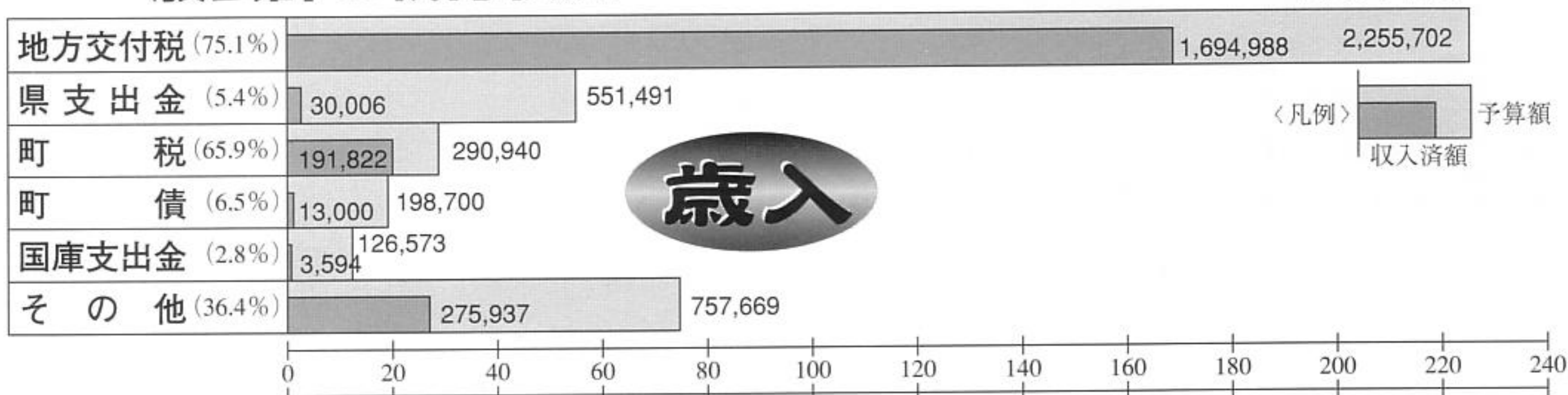
平成12年度 財政状況公表

平成12年9月30日現在

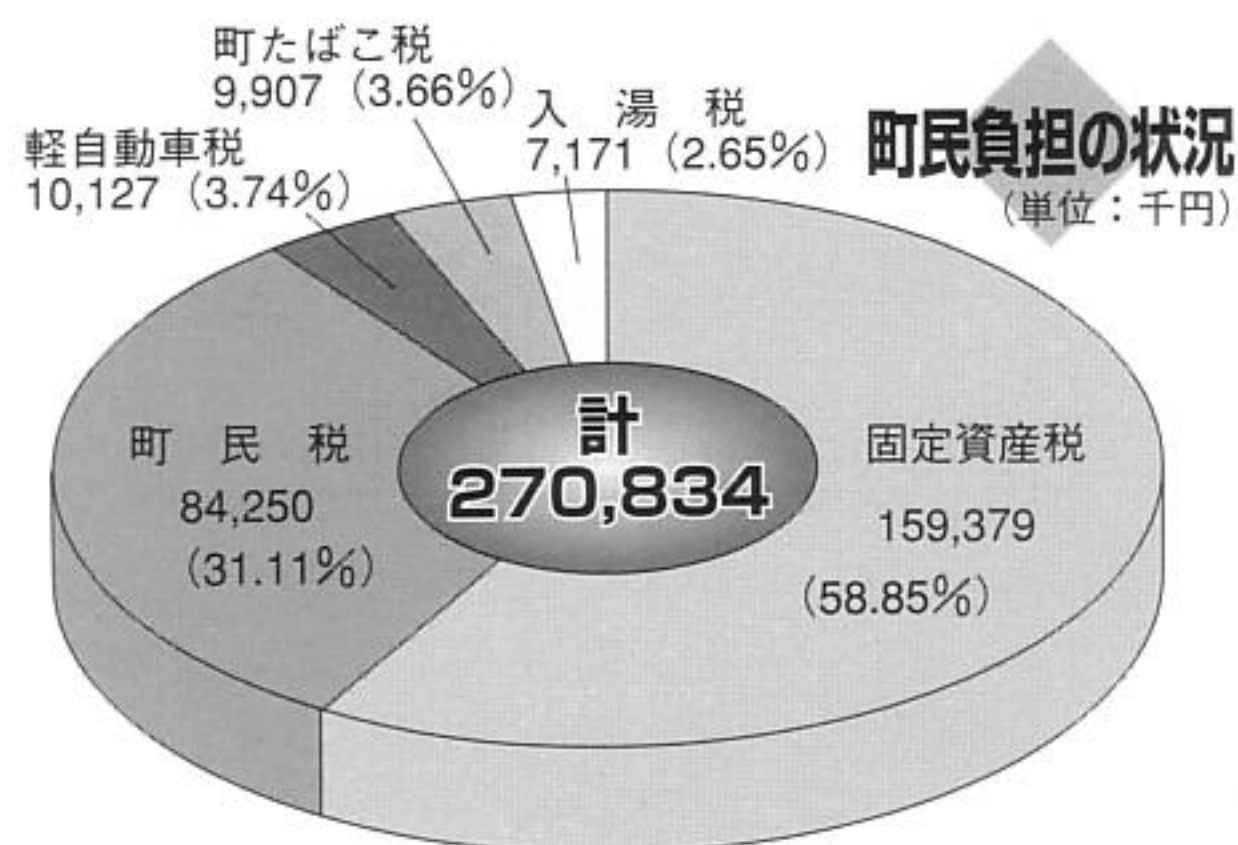
町の上半期(4月1日～9月30日)の財政状況をお知らせします

一般会計の執行状況

(単位：千円)



	歳入		歳出	
予算現計	収入済額	収入率	支出済額	執行率
4,181,075	2,209,347	52.8%	1,348,029	32.2%



特別会計の執行状況

(単位：千円)

区分	予算現計	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業勘定特別会計	423,922	206,823	48.8%	139,496	32.9%
老人保健医療事業特別会計	707,717	278,536	39.4%	301,714	42.6%
簡易水道事業特別会計	293,735	53,686	18.3%	68,243	23.2%
農業集落排水事業特別会計	438,729	3,603	0.8%	89,139	20.3%
特別養護老人ホーム東光苑特別会計	270,141	83,907	31.1%	123,423	45.7%
大平スキー場運営費特別会計	17,609	20	0.1%	946	5.4%
合計	2,151,853	626,575	29.1%	722,961	33.6%

基金の保有状況

(単位：千円)

基金の名称	合計
財政調整基金	243,518
減債基金	283,748
庁舎建設基金	512,309
地域振興基金	54,037
地域福祉基金	140,000
ふるさと出会いの森基金	25,494
中山間地域活性化推進基金	7,310
中山間ふるさと水と土保全基金	6,279
畜産振興基金	32,219
土地開発基金	74,000
その他定額運用基金	275,054
少子化対策基金	10,004
合計	1,663,972

農業所得の計算方法が変わります

平成十二年分所得申告

平成十二年分（平成十三年二月
三月十五日申告分）から、大部
分の農家の皆さんが採用している
農業所得標準の計算方法が変わり
ました。

方法を採っていましたが、平成十
二年分から実際の収入金額を基に
所得金額を算出する方法に変わり
ました。

今まで水稻の所得については、
作付面積から所得金額を算出する

申告の前に、収入金額の分かる
預金通帳や出荷伝票などを準備す
る必要があります。収入金額は、

米代金だけでなく野菜など
の農産物の収入も入ります。

また、葉たばこの所得に
ついては平成十二年分から
所得標準が廃止になったた
め、実際の収入から経費を
差し引いて計算する収支計
算による申告となります。
その場合、葉たばこ生産農
家が他に水稻や野菜などを
生産している場合は、それ
らの所得も同様に収支計算
による申告になりますので
収入及び経費について領収
書や精算書などの書類を準
備する必要があります。

平成12年分からの農業所得標準の計算方法

$$\text{収入金額} \times \text{所得率} - \text{共通経費} - \text{実額控除経費} + \text{雑収入} = \text{所得金額}$$

- ・収入金額～年間の販売収入と飯米などの自家消費分等を合算したものです。
- ・所得率～水稻、野菜の別にそれぞれに算定されます。（申告前に開示します。）
- ・共通経費～農業経営全般に共通する経費で、軽トラ等の車両費、修繕費、水道光熱費、建物関係費などの標準経費です。（申告前に開示します。）
- ・実額控除経費～農家個々の実際に支払った経費や大型農機具の減価償却費等ですが、対象項目が限られています。農業所得事前調査書の支出項目が該当します。
- ・雑収入～受取共済金、作業受託収入、とも補償関係の収入金などです。

収支計算をおすすめします

農業所得標準は、農業所得を申告するための単なる目安のため、所得標準で計算した場合は、必ずしも農家個々の実状とは一致しないものです。特に出荷用の野菜畑の場合は農作物の種類により収入や経費が違いますので当然所得は異なるのが本来ですが、標準計算の場合はそれを反映させることができません。また、農作業受託の多い農家の場合も作業経費の反映ができないため不利になる場合があります。

そこで、農家個々の事情を反映できる収支計算による申告をおすすめします。

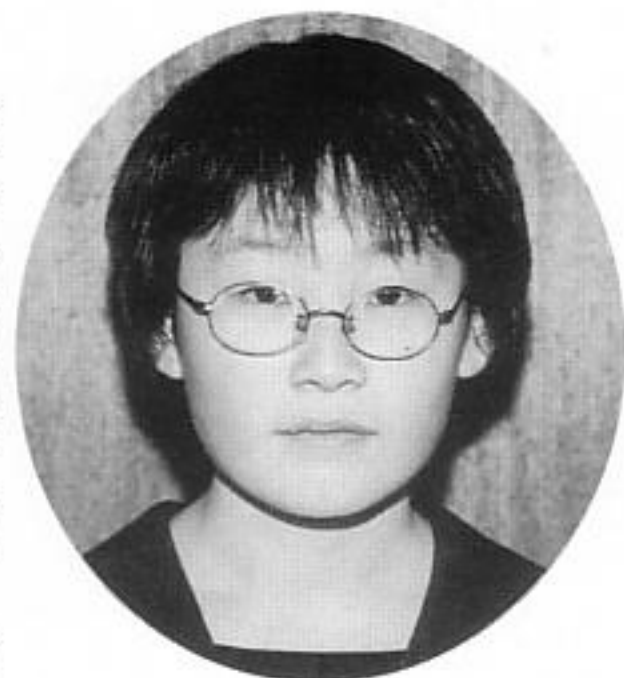
問い合わせ 税務課

☎ 69-2111

税金について私が考えた事

東由利中学校

三年 佐藤 有紀



私の住んでいる東由利は、緑に囲まれた故郷というにふさわしい美しいのどかな町です。しかし、若い人達には少し田舎くさいと思われ、過疎化が進んできています。

最近、東由利ではそれを防ぐために、町おこしがさかんになってきました。私は、その資金がいったいどこから出てくるのだろうと思い聞いてみると、なんと税金でした。

私はいままで、税金は納めるだけだとばかり思っていたので、知らなかった自分がはるかしくなりました。

まず、町おこしの一環として、町民プールが二年前に造られました。今までプールは小学校にしかなく、親子で泳ぐためには、近くでも隣の町まで行かなくてはなりませんでした。だけどプールができたおかげで、わざわざ遠くまで行く必要もなくなったし、とにかく広いので少しくらいの大人数でもラクラク入れるようになりました。

しかしその反面、そこは大赤字だとも言われています。その理由を考えると、プールの場所が悪い、人を呼びこむためのイベントがないという点だと思います。

中学生の私達にとっては、授業でプールがあるので便利ですが、国道から離れているの

で、県内・外の人泳ぎたいと思っても見つけにくいと思います。

第二に、子供にはとても利用されていますが大人はどうでしょう。とても良いプールなのに、町民からして使わないのはとても残念な事だと思います。だから、スイミングスクールや小さな大会などを開いて、ただのプールではなく町民に良く利用されるプールにしてほしいです。

第二の町おこしとして、湯楽里があります。これも税金で造られましたが、町民の人々すべてが利用しているわけではありません。そのため、町では七十歳以上の老人に入浴券を配りました。それはとても良い事だと思います。ただ、老人にだけではなく、町民すべてに配ったほうが良いと思います。町民が近くにあつて利用しないのは、プールの場合と同じくらい悲しい事です。町民が良い湯だと言ってこそ、他県・地域の人がはじめて利用してくれます。だから、町にある素晴らしいものを溝に捨ててしまうような使い方をせずに、税金を出して作って良かったと思えるようなものになってほしいです。

最後に、税金はどこからともなく湧きでてくるものはありません。宇多田ヒカルはまだ二十歳にもなっていないのに、日本で一番多くの税金を納めています。しかし、大人の中には、病気でもなんでもないので働きたくなって働かず、税金を納めない人もいます。だから私達が大人になったら、しっかりと税金を納めて、世界一のより素晴らしい日本になるようがんばります。

あすの秋田を創る協会

平成12年度「ポイ捨て禁止運動」標語

中学校の部 最優秀賞作品

拾ってたんせ その空き缶
救ってたんせ 緑の地球

東由利中学校2年 高橋 佑 光 君

公民館を利用しよう

人が生涯を通じて行う主体的な学習活動を生涯学習、生涯学習を支援し援助する教育的活動を生涯教育といいます。

生涯学習の基本は自ら学習を行うことですが、きっかけがないとなかなか始めることができないもの。辞書で公民館をひもとくと「市町村などで、住民の文化的意欲を充実させていく中心として設けられた総合的な社会教育施設」と定義づけられています。つまり自己を高める一つとして公民館を上手に利用する方法も考えられるわけです。

今月号の公民館だよりでは、地域の生涯学習活動における公民館の役割について、取り組んでいる事業等から一部紹介します。

自己学習の場として

▲「公民館で楽しむつどい」で本に親しんだ園児たち

童話を通じ感性を

「公民館で楽しむつどい」

十一月十四日、公民館で町内二保育園の園児四十余名を対象に「公民館で楽しむつどい」が行われました。

このつどいは子どもたちが絵本や本に親しむ機会の提供をと、行われたもの。映画上映に引き続き、公民館図書室でそれぞれが読書に親しみました。

みどり保育園長見担任の小野保育士さんは「子どもたちそれぞれ童話を楽しみながら読んでいたようです」と、話してくれました。

本に親しむ機会を提供することも公民館の役割のひとつ。童話や本を通じてよい感性を育てていきたいものです。

なお十二月には県内唯一の童話コンクールである第九回高橋宏幸賞童話秋田県コンクールが行われます。子どもたちの感性あふれる作品が楽しみです。

読みたい本はお気軽に

「公民館図書室」

童話だけではなく公民館図書室には一般向けの本もたくさんあります。

図書室は無料で利用できる知識の宝庫。午前九時から午後五時まで毎日（年末年始は除く）休みなしで開いています。貸出冊数は五冊まで、貸出期間は三週間以内です。

図書室に行っても読みたい本がない場合は、購入、もしくは県立図書館から貸出協力を得ています。利用の際には必要な情報（書名、著者名など）を電話等で教えていただければ、すべて無料で手続き、貸出しいたします。県立図書館貸出利用者のひとり小野節子さん（蔵）は「読みたい本がすぐ読むことができてよか

ったです。よい仕組みなのでこれからも利用したいです」と話してくれました。

学習の場として活用を

「公民館学習室」

図書室をはじめ、各体育施設関係の利用についてはよく知られていますが、意外と知られていないのが公民館学習室のこと。この学習室は基本的に住民の学習活動に対して常に開放されている場です。様々な機材を取りそろえていますので、各種学習活動で場所が必要になった場合などお気軽に公民館へお声をかけてください。

楽しみながら作品作り

「学習教室・第三回陶芸教室」

生涯学習活動において学習教室も大切な事業です。

初夏から夏にかけて町陶芸教室が行われましたが、十一月十日から約一ヶ月間に渡り、今年度最後になる三回目の陶芸教室が行われました。

参加者は前回、前々回を上回る約二十名弱。経験者はもちろん、初心者も楽しみながら陶芸作品を作っていました。

今回初参加の畠山よう子さん（中通）は「こんなに楽しいとは思わなかったの



▲本年度、三回目の陶芸教室から

高齢者と社会つなぐ

「ことぶき大学」

生涯学習のひとつとしてことぶき大学の役割も忘れられません。毎月実施している同大学、十一月は詩吟、演芸などのコース別研修を実施すると共に、町福祉課主催の「福祉と健康のつどい」に参加しました。第三十期をむかえることぶき大学ですが、これからも高齢者と社会をつなぐ役割を果たしたいものです。



▲ことぶき大学当日の研修から

生涯学習のすすめ

「町生涯学習奨励員」

個人として色々なことを学びたいが、どのような形で学んでいったらいいのかわからないという人もいます。町には何人かの生涯学習奨励員がいらっしやいますので、何か学びたいと思ってい

図書室・12月新刊本紹介

特集企画「子どもたちの心を知るために」

- ・少年にわが子を殺された親たち／黒沼克史
- ・ぼくは「奴隷」じゃない～中学生「五千万円恐喝事件」の闇／中日新聞社会部編
- ・息子を犯罪者にしない11の方法／和田秀樹
- ・地獄の季節／高山文彦
- ・子どもはどこで犯罪にあっているか／中村攻
- ・17歳もしかしたらわが子も！／北里信太郎
- ・少年犯罪と戦うアメリカ／矢部武
- ・少年サバイバル・ノート／西山明
- ・なぜ大人になれないのか／村瀬学
- ・「人を殺してはいけない」と子どもに教えるには／H・クラウド

現代小説（ミステリー）

- ・あやかし／高橋克彦
- ・ダブルスパイラル／米山公啓
- ・アローン・トゥゲザー／本多孝好
- ・雪月夜／馳星周
- ・PINK／柴田よしき
- ・貴賓室の怪人／内田康夫
- ・麦の海に沈む果実／恩田陸
- ・スクリーミング・ブルー／藤木凜
- ・ゼーレス坂から幽霊坂／吉村達也

女性のための本

- ・papa told me 1～23／榛野なな恵
- ・Iモード事件／松永真理
- ・四季亜希子上、下／五木寛之
- ・命をくれたキス／鈴木ひとみ
- ・二十三年介護／ねじめ正一
- ・少女M／野坂昭如

本格的な芸能にふれる

～わらび座来町



▲新時代の息吹あふれる作品が上演された

11月23日町民体育館において、町民文化劇場として劇団わらび座による作品「歌舞集21・飛翔」が上演され、初冬の寒い時期にもかかわらず町民約四百余名が本格的な芸能を楽しみました。

この作品は第一部が海のエネルギーを感じさせる和太鼓と舞踊による組曲「波濤をこえて」、第二部がいのちの輝きを表現した歌舞集「歩み」の二部構成。舞台狭しと展開する、太鼓を中心にした新時代の息吹あふれる作品に来場者は大きな拍手をおくっていました。

町文化、芸術作品が一堂に

～秋まつり公民館事業



▲盛り上がった芸能・のど自慢大会

10月28日、29日の両日秋まつりが行われ、有隣館で生涯学習作品展が、中学校体育館で東由利芸能・のど自慢大会がそれぞれ開催されました。

生涯学習作品展には児童、生徒作品をはじめ、町各文化サークルの皆さんによる力作が展示され、訪れた方々の目を楽ませました。また、28日夜に行われた芸能・のど自慢大会には町の舞踊、のど自慢の持ち主が集まり、体育館一杯つめかけたお客さんと共に大いに盛り上がっていました。

11月

公民館行事ニュース

小野寺県教育長が来校

～文部大臣表彰状伝達

学校安全活動の推進に功績があったとして、東由利中学校が第五回全国学校保健研究大会で文部大臣表彰を受けましたが、十一月十五日、小野寺県教育長が同中を訪れ、表彰状伝達を行いました。

川村和雄校長は「今後も積極的に学校安全学習に全校生徒あげて取り組んでいきたい」とあいさつしました。



▲表彰状伝達をうける川村校長



	A	B	C	D	E	F	G
A ババババ		①	⑤	①	2	9	5
B いしだか	③		⑤	3	③	6	②
C ミルキー	⑤	⑤		11	⑤	1	12
D いもねえちゃんず	①	3	11		⑤	⑦	⑧
E ギャルズ	2	③	⑤	⑤		⑤	7
F タウンオフィス	9	6	1	⑦	⑤		⑤
G 蔵スーパーレディ	5	③	12	⑤	7	⑤	

※○付きはAコート（ステージ側） ○なしはBコート

試合	試合日	Aコート	Bコート
12月4日(月)	第1試合	① A-D	1 C-F
	第2試合	② B-G	2 A-E
12月6日(水)	第1試合	③ C-E	3 B-D
	第2試合	④ F-G	
12月11日(月)	第1試合	⑤ B-C	5 A-G
	第2試合	⑥ D-E	6 B-F
12月13日(水)	第1試合	⑦ D-F	7 E-G
	第2試合	⑧ A-C	
1月10日(木)	第1試合	⑨ D-G	9 A-F
	第2試合	⑩ B-E	
1月15日(月)	第1試合	⑪ A-B	11 C-D
	第2試合	⑫ E-F	12 C-G

家庭バレーボール交流大会

12月4日(月)～1月15日(月)

る方は奨励員に相談してみたいかがでしようか。きつと力になってくれるはずですよ。

町生涯学習奨励員は次のみなさんで、(一)内は手がける主な活動です。

・石渡 力造 蔵新田(紙芝居・郷土史)

・長谷山博昭 上通(スポーツ・レクリエーション)

・小松耕之助 下小路(高齢者教室)

・大坂 イヨ 下通(ちぎり絵)

・佐藤 鉄雄 寺田(陶芸・レクリエーション)

・阿部タツ子 岩館(ボランティアー)

・大日向幸子 宮ノ前(レクリエーション・ボランティアー)

・小野 玉枝 上里(踊り・琴)

・工藤真利子 新町(書道)

・佐藤米二郎 石高(自然観察)

大平スキー場が社会体育施設になります

時から同まで。

リフト料金の改正

リフト利用料金は、昼間・夜間の二通りとし、引き下げを十二月議会定例会に提案する予定です。

食堂部門は廃止

食堂部門は廃止し、自動販売機によるファーストフードの委託販売で対応。

オープンは今月二十三日。

平日は午後から営業

営業時間は、平日が午後一時三十分から同九時まで、土・日・祭日や大会等が行われる日は午前十

トピックス



▲優勝の賞状、メダル、トロフィー、盾を前に誇らしげな尚子さん

十一月五日（日）、十文字町B&G海洋センターで第四回新相撲選手権大会が行われ、この大会に本町から参加した高橋尚子さん（十一ノ前・高瀬小四年）が小学校四年以下の部で堂々の優勝を果たしました。三年生の時に体育で初めてやった相撲のおもしろかった記憶が、この大会に出場したきっかけという尚子さん。特に練習も行わず緊張した中、お父さんに教わった作戦を頼りに思い切ったぶつかったと笑顔で話してくれました。

将来オリンピック採用が期待される相撲競技に楽しみが湧きます。

目指すはオリンピック

高橋尚子さん（高瀬小四年）

十一月五日（日）、十文字町B&G海洋センターで第四回新相撲選手権大会が行われ、この大会に本町から参加した高橋尚子さん（十一ノ前・高瀬小四年）が小学校四年以下の部で堂々の優勝を果たしました。

三年生の時に体育で初めてやった相撲のおもしろかった記憶が、この大会に出場したきっかけという尚子さん。特に練習も行わず緊張した中、お父さんに教わった作戦を頼りに思い切ったぶつかったと笑顔で話してくれました。

将来オリンピック採用が期待される相撲競技に楽しみが湧きます。

平成12年度東由利町福祉と健康のつどい



▲パネラー自らの活動をもとに人生について意見を交換した

健康で生きがいのある人生を

福祉と健康のつどい

十一月二十一日、有隣館で福祉と健康のつどいが行われ、福祉と健康について意識を高めようと愛育会や老人クラブなど約一三〇人が参加しました。当日は民話を通してボランティア活動について、秋田民話の会会長の石井善三氏が講演し、続いて本町の石渡力造さん（蔵新田）ら三組の秋田民話の会会員による昔語りを実演されました。

その後ボランティアをテーマに、三人のパネラーと石井氏を助言者に迎えてシンポジウムが行われ、参加者と一緒に考えを交換しました。

アイドルをさがせ!



横山 颯大くん（新町）
（1歳）

お父さん：一也さん
お母さん：純子さん

お話し：純子さん

名前の由来は

「みんなをなごます大きな風と言う意味を込めて付けました」

どんな子

「元気で明るい子です。初めての人でも愛想が良く、ぜんぜん人見知りをしていない子です。また、日中お父さんやおじいちゃんが居ないせいか、男の人が来ると特に喜びますね」

最近のエピソードは

「最近歯みがきがお気に入りです。誰かが磨いていると自分もねだり、口に歯ブラシを入れて磨いてあげると、おとなしく気持ちよさそうにしています」

将来はどんな人に

「名前のように優しくみんなをなごませるような子に育って欲しいです」

貯金のたびにおみくじがひけます



▲貯金箱にはちゃんと鳥居のマークも描かれています

私のアイデア貯金箱

郵政省が主催する第26回「私のアイデア貯金箱」コンクールで、高瀬小学校三年生・高橋孝聖君の作品が秋田県教育長賞を受賞しました。

受賞した貯金箱は、上部がお賽銭箱のようにジョウゴ状になっていて、中にコインが入ると鈴を鳴らし、付属しているおみくじ箱で運勢を占うというしくみ。一回貯金するたびに、お金を大切に思う気持ちがこもりそうなユニークな作品です。

YG カング・ジェネレーション



新成ト

松柴 小 松 和 也さん (21)

小学校から高校までバスケットボールをやり、現在の趣味もスポーツ、特にバスケットボールが好きという和也君。自分のことをのんびりやでマイペースと紹介してくれ、仕事場でもマイペースで頑張っているとか。休日は友達とドライブにでかけるか、そうでないときは寝ているとのこと。プライベートでもマイペース？今は友達が大事で、これからはいろんなことにチャレンジして、本当に自分でやりたいことを見つけないかと夢を語ってくれました。

石碑と心に刻んだ母校への思い

旧住吉小学校碑



▲住吉小学校を後世に伝える記念の石碑

旧住吉小学校の思い出を後世に伝える目的で、住吉地域協議会(地元住民組織・代表長谷山光さん)が同校跡地に記念碑を建立しました。

記念碑は建設費用一七〇万円のうち町の補助金が三〇万円、残りは地元住民の寄付で賄われています。同会では十月二十一日に除幕式を行い完成を祝いました。

同校は昭和五十七年に閉校してから資料室や交流の場などに使われてきましたが、この八月に体操場が解体され、一部の残った校舎は分館等地域施設として活用されています。

自ら楽しんで活動を実践

生涯学習推進功労



▲自分が楽しんで活動していたと話してくれた文化協会の会計を務めるなど、地域の芸術文化の振興に貢献されています。

十月五日、秋田市文化会館で秋田県生涯学習フェスティバルが行われ、大坂イヨさん(下通)が生涯学習奨励員協議会長表彰を受けました。

大坂さんは昭和五十七年から生涯学習奨励員として自主活動グループを支援、自らも書道クラブなどに所属し活動を実践されました。

農林水産統計 永年協力者表彰

農林水産統計に永年協力したとして、阿部清作さん(杉森)に農林水産大臣より感謝状が贈られました。

阿部さんは農業経営統計調査の調査対象農家として、これまで五年間にわたる毎日の家計収支を日計簿に記帳し、サンプルとして国に提供しています。統計の成果は、農家経済の実状を知る資料として活用されています。

ふるさとの絆で語ったひととき

本荘東由利会総会



▲町の情勢について語る小松助役

十月二十九日、本荘市松美町公民館において第七回本荘東由利会総会が行われました。

本荘東由利会の現会長は遠藤重和さん。総会には町から小松助役が、本荘市からは鷹照助役が来賓として出席しました。

また総会では本荘第一病院の小松寛治院長の講演が行われ、その後は歌や踊りなどに興じ、参加者五十数名が互いの近況や東由利町への意見などを交換し懇談のひとときを過ごしました。

介護保険の該当にならないおおむね65歳以上の高齢者で、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するために支援・指導の必要な方が対象です。

デイサービス (生きがい活動支援通所事業)

デイサービスセンター (いちよう館) で趣味活動や入浴などのサービスを提供します。

利用料 500円

昼食代 350円

ホームヘルパー (生活管理指導員派遣事業)

日常生活や家事に関する支援・指導や関係機関等との連絡調整などのサービスを提供します。

利用料 1回400円 (1時間程度)

ショートステイ (生活管理指導短期宿泊事業)

日常生活や家事に関する支援・指導や関係機関等との連絡調整などの宿泊サービスを提供します。

利用期間 おおむね1週間以内

利用料 1日400円

食事代 1,000円 (1日あたり)

介護予防・生きがい活動支援サービスをご利用ください

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

本荘市から

アクアパルフリーマーケット「水辺のまち市場」

12月17日(日) 9:00～12:00 アクアパル正面入口
不要になった日用雑貨、衣類、おもちゃ、雑誌、家庭電化製品やパソコンなどを販売

本荘ポートプラザ「アクアパル」 ☎22-5611

アクアパル「ミレニアムイルミネーション」

12月10日(日)～24日(日) (月曜休館)

アクアパルアトリウム 会館21:30

家庭で眠っているクリスマスツリーを集め一斉に展示

提供したい人は12月8日までアクアパルへ

本荘ポートプラザ「アクアパル」 ☎22-5611

仁賀保町から

不思議がいっぱい科学の世界 ～磁石の世界を体験～

12月23日(土)[天皇誕生日] フェライト子ども科学館 (研究工房)
磁石を使った実験で磁力の世界を探ってみよう

1回目 10:00～12:00 2回目 13:30～15:30

小学5年生～中学生、参加無料、科学館は別途入館料が必要
フェライト子ども科学館 ☎32-3150

岩城町から

生き活き学びのつどい ～生きがいをみつけて健やかな人生を～

12月3日(日) 9:50～14:40 岩城町民総合体育館

寸劇「介護保険ってなあに？」

宮尾すすむさん(タレント)による記念講演「人生 生涯挑戦」
岩城町福祉保健課 ☎73-3175

矢島町から

2001エランカップGSLスキー大会

12月24日(日) 9:00～ 鳥海高原矢島スキー場

参加費 小・中学生 2,000円

高校生 2,300円

成年 2,500円

申込 12月5日(火)正午必着

2001エランカップGSLスキー大会事務局
(矢島町企画商工観光課 ☎55-4953)

自衛隊生徒募集

受付期間 平成13年1月5日(金)まで

試験日 平成13年1月7日(日)

試験場 鶴舞会館

応募資格 平成13年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子
『平成13年3月中学校卒業見込みの者含む。』

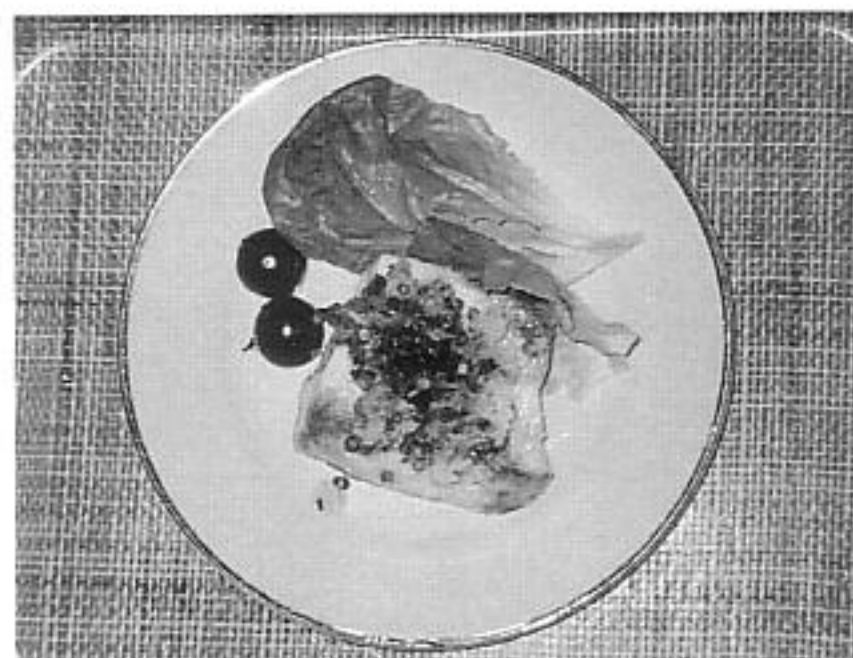
身分等 特別職国家公務員、3年後高校卒業資格有り、
衣食住無料

毎月155,900の俸給、ボーナス年4.95ヶ月分

問合せ 自衛隊本荘募集事務所 ☎22-3479

ヘルシークッキング Vol.7

よりよき生活習慣で病気を予防する



「かじき和風ムニエル」(4人前)
《材料》(大…大さじ、小…小さじ)
かじきまぐろ280g、塩小半分弱、小麦粉大3杯、サラダ油大1杯弱、
大根200g、しょうゆ大半分弱、みりん大半分弱、あさつき20g、
サラダ菜40g、プチトマト80g
《作り方》
かじきまぐろに塩をふり、小麦粉をつけてサラダ油でムニエルを焼く。
大根はおろし、あさつきは小口切りにしておく。しょうゆとみりんを鍋でサツと温め、火をとめて大根とあさつきを入れ、器にサラダ菜をしきムニエルをのせる。その上にみぞれあんをかけプチトマトを飾る。

《アドバイス》
まぐろは多少値が張りますが、こんな料理にすれば幅広い年代層に好まれるのではないだろうか。
脂質は質と量を考慮してとることが、高血圧を中心とした生活習慣病の予防につながります。

(小松保健婦)

在宅福祉

介護保険以外の在宅福祉サービスをご利用ください

おおむね65歳以上の一人暮らし、高齢者世帯または身体に障害をもった方などで、日常生活に関する支援・指導の必要な方が対象です。

家族介護者ヘルパー受講料を助成します

在宅で高齢者を介護しているか又は介護していた家族が、ホームヘルパー2級または3級課程を受講された場合に、受講料の一部を助成します。
支給限度額 30,000円

家族介護用品を支給します

要介護度4か5と判定された方で在宅で介護してる家族に介護用品を支給します。
支給用品 紙おむつ、尿取りパットなど
利用料 無料

配食サービス

栄養バランスのとれた食事を家庭に配達し、安否確認をします。
利用回数 週2回月・木曜日の昼食
(週1回でも可)
利用料 1食200円

寝具等のリースを行います

月1回寝具等をリースする方式で、寝具等洗濯乾燥消毒サービスを行います。
利用料 月1回400円

介護保険Q & A

Q. 特別徴収、普通徴収とはどういうことですか、またそれぞれ保険料はどうやって納めるのですか。

A. 第1号被保険者(65歳以上)の保険料は特別徴収と普通徴収の二つの徴収方法があります。

特別徴収は、年金から天引きされる方です。もらっている年金から自動的に介護保険料が天引きされてから年金が支給されますので、金融機関に納めるとか、口座振替の手続きをとる必要はありません。

普通徴収は、納付書で納めていただく方です。年金が年額18万円未満の方や障害者年金、遺族年金、恩給の受給者が対象となります。金融機関に納付書で納めていただきます。

普通徴収の方は、納め忘れのないように口座振替の手続きをおすすめします。「口座振替依頼書」は役場福祉課にあります。

Q. 11月に65歳を迎えます。すでに老齢退職者年金(年額18万円以上)をもらっていますが、保険料の徴収はどうなるのですか。

A. 年度途中で65歳を迎えられる方は、年金を受給されていても普通徴収の対象となります。したがって、納付書で納めていただくこととなりますが、翌年の10月からは特別徴収の対象となり納付方法が変わります。

歳時記

病む母の 枕頭 ちんとう 晦日そば みそか

すする 大橋 敦子

流れ来て この古町の 晦日

そば 誠

晦日そばは、「年越しそば」

「つごもりそば」ともいい、大晦

日の夜に食べるそばのこと

です。また、「運そば」「福

そば」「寿命そば」など、

各地それぞれの言い方もあ

ります。

商家では大晦日は、明け

方まで忙しいので、夜、腹

ごしらえにそばを食べると

いうことから「晦日そば」

という名前が付いたという

のが、一般的にいわれている

由来のようです。しかし、年

越しそばは祝儀食のひとつとさ

れているので、この説は当たっ

ていないという見方もあります。

また、金粉が散ってしまったと

きに、そば粉をまいてはき集め

るところから、次の年のことを

思いながらそばを食べて、金

を集めるといふ縁起をかついたと

晦日そば



日本人の食事といえば、そばのほかにも。収穫したての品質を低温倉庫でキープしている政府備蓄米「たくわえくん」。販売協力店は、お近くの食糧事務所で紹介しています。

晦日の晩くらいは、家族そろって晦日そばを食べたいものです。

いう説もあります。いずれにしても、細く長くという思いのこもった「晦日そば」という言葉には、感慨がこもっています。最近では、「孤食」という言葉もあるように、同じ家で家族が暮らしていてもライフスタイルの違いから、一人一人が違った時間に食事をするということも珍しくありません。せめて、大

続・畜魂

～つれづれの記

第18話「研修旅行断片」

鈴木龍太郎・文

―畜産研修旅行では

ハプニングもあった―

■待てど暮らせど来ぬ車

今は昔、寺田和牛組合では畜産試験場見学後、強首温泉で反省会をするべく送迎バスを宿に頼んだ。晩春のおお天気朝、人々は寺田消防小屋前でバスを待った。ところが時間を過ぎてても車が来ない。はじめは地理不案内で遅れているのかな、と思っていたが、二十分も過ぎると不安になり宿に電話すると、間に合うように出かけたという答え。だが見えない。再び電話をする、どうも待ち合わせ場所があやふやだ。もしやと思い若い者が新町の消防分署に行くと、いた。時間を過ぎてても人が集まらないので、狐につままれた

ような顔の運転手のバスが待っていた。消防は消防でも「分署」と「小屋」では大違い。呆れたり笑ったりの声を乗せたバスは、一時間近く遅れてようやく出発した。携帯電話が無いころの話で、そのとき先達してくれた佐藤巖氏は今は居ない。

■平謝りの案内人

平成三年九月十八日、黒潮地区和牛組合（当時佐藤隆一組合長）の西目での研修に、人々を乗せたバスが案内人である私の家に寄ることになっていた。ところがその朝、「牛が苦しんでいるが共済の金田先生が不在である。至急来てくれ」と電話が入った。困ったが捨ててはおけない。バスに待って頂くよう家人に言い残し、車を飛ばして農家に到着、直ちに牛の手当をし「金田先生にも連絡するように」と言い残し、再び車を走らせて帰った。バスに飛び乗った時は、予定より相当遅れていた。案内人が時間厳守出来なかったことを平謝りに詫言る私を、人々は寛大に許してくれ「それより牛の具合はどうだ？」と尋ねる。その声には温かく、しかも強い仲間意識が感じられた。牛は快復したとの連絡があった。

―研修を兼ねて

―野掛けすることもある―

■十年も前のこと。岩館和牛組合（当時阿部幸悦組合長）は県立中央公園で隣接の空港に離着する飛行機を見ながら野掛けをした。なにかとみんなの世話をしていたそのときの阿部マツ子さ

んの姿が今でも目に浮かぶ。

ところで私は野掛けは覚えていたが、研修場所を忘れ、阿部仁志氏に畜産試験場だと教えられ始末で、勉強より食気の自分が恥ずかしかった。

■平成三年秋、川東和牛組合（当時畠山次郎組合長）は大潟村の牧場見学後、寒風山でハンググライダー見ながら野掛けをした。帰りに残存湖で舟の中にある採取したばかりのシジミを買い、皆で分配した。二三日間はどこの家でもおいしいシジミ汁が出たであろう。

―研修は行くだけでなく

―来たこともある―

■小松良一氏と小松建一氏の共同牛舎（山崎）の視察に多人数を乗せてきた大型バスが、畜舎前で回転するのに四苦八苦していた。

■昭和六十三年七月、大内町畜産婦人部十四名が研修で土場沢和牛婦人研究会（当時畑山ヨシ会長）にやって来た。集会所での座談はもちろん牛であったが、それ以上に農業後継者問題について、お互いに熱心に話し合っていた。

■山形県真室川町から二十人くらいの畜産婦人が来て、有隣館で交流したことがあった。こちらからは横山幸子さん（石高）や遠藤喜栄子さん（新処）佐々木栄子さん（大琴）などが出席していろいろ説明した。なかでも子牛販売金の一部を母さん名義で積み立てる「かあちゃん貯金」が真室川婦人の関心を引きつけていた。

季節を詠む

（せせらぎ句会）

障子貼る手に老斑を増やしつ	横小路 宮野 源二郎
野菜作りの問答はずむ小六月	上里 小野 石路子
山風の一通にわたる菱紅葉	横小路 小松 丈介
朝寒や牛の吐く息白さ増す	蔵新田 小笠原 亮子
ななかまど湖畔に旅の心燃ゆ	山崎 小松 良子
紅葉燃ゆ嶺々もけもの道の道なお	蔵新田 小野 貞子
冬支度暮れ日を急す釘の音	蔵 阿部 澄子
未枯や戌辰無名の兵の墓	舟木 大庭 喜右衛門
未枯れて草刈り道は九十九折	久保 高橋 典三
峽を出て百はおろかの草風	横渡 高橋 ヒデ子
温め酒やかんの蓋に穴一つ	高戸屋 小松 敏雄
夕茜第一陣の雁渡る	中通 小松 順之助
白鳥来高嶺みそぎの雪着たり	家ノ下 小松 正昭
歓声が紅葉にあがるバスの旅	蔵新田 小笠原 トミ
種瓢流れに大き尻浮かす	下小路 小松 メサ
妻と手をたずさえて乗る初時雨	五海保 嶽 石レイ
陽を受けて寄り添う杖に冬近し	小倉 遠藤 トミ子
晴れつづく日毎に冴える庭紅葉	時雨山 吉川 葉子

二十世紀初頭、すなわち明治後期の林業は、木材需要の増加や輸出市場の出現の中、国有林野特別経営事業が先導して民間の林業熱を高めるなどまさしく近代林業の開花期でした。

その後大正、昭和と国有林造林や公有林野官行造林、県行造林、補助造林が増え続け、木材需給もこれまでの木材利用にブナ材の利用開発や南洋材の合板製造が加わって需要量の増加が続き、戦時中の昭和十八年には軍用供出材が多くなり、一億石を超える最高に達しました。

昭和二十年の終戦以降は木材経済が一時低迷したものの、朝鮮戦争の特需によって活発となり、木材価格は上昇傾向を示し、昭和三十年代には、高度経済成長に刺激されて木材価格が更に高騰、造林活動が活発化しました。

また、所得倍増計画による中小企業の近代化が図られ、外材製材工場が増え続け、輸入材が急増する結果となりました。

昭和後期から平成にかけて輸入材が増え続け、国産材需要量は総需要量の二割に低下し木材価格も低落。国内林業は今停滞期に入っています。

(町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏)

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	22	303kg	477,464円	1,499円
雌	16	275kg	334,031円	1,150円
全体	38	291kg	417,071円	1,343円

最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	570,150円	北国7の8	安美金	第7糸桜
雌	474,600円	福栄	北国7の8	紋次郎

十一月家畜市場

木材共販市況

(平成十二年十一月・平均価格)
四五年生、五五年生

径級	単価(石)	備考
直材36cm以上	5,000~9,000	(11/17)県生付・80年生上(込)
	7,300~20,000	(A五)
24~28cm	4,200~4,300	
14~22cm	3,800~4,000	
13cm以下		
曲り材24~28cm	5,200	(11/17)80年生上(A五)
30~34cm	5,500~5,600	(11/17)80年生上(A五)

11/2 14~22cmは繰り越し材主体の出品ということもあり、完売ながらも単価は弱含み。24cm上は当用買いに終始。
11/17 高樹齢材については、まずまずの好値。一般材については、地元勢が当用買い。量産工場の単価出しが渋く、40%にとどまった。全般に弱含み。

ふるんど むかしむかし

四二

正月のどぶろく

むかしむかし、村人は酒も買えないくらいに貧しかった頃のこと。一文の銭もない水のみ百姓でも、年に一度の正月ぐらゐは清酒が飲みたいもの。でも買う銭がない。そこで、お上にかくれてこっそりどぶろくを造って飲んでいました。

与作という爺さま夫婦は、大の酒好きで、毎晩のように晩酌をくみ交わしているのです。二人の造るどぶろくは、ほどよく甘く、造り方が上手なので評判です。それにまたこの夫婦、隠すことにかけても村一番なのです。

ある年の正月間近のこと、与作爺さまと婆さまの二人は、酒横目(どぶろく)を取り締まる役人(酒税目)に見回りに来ぬうちに、正月用の酒を造り、台所の天井裏に隠すことにしました。婆さまは、入口に近くて目にとまりやすいと反対したが、与作爺さまは「まさかこんな所とは思わせないの手なんじゃ」と自信たっぷり。はしごをかけて、どぶろくの入った重いかめを天井裏に隠しました。

あくる日の昼すぎ、爺さまの留守に、酒横目の役人がひょっこり見回りにやって来ました。前の晩に爺さまと打ち合わせしていた婆さまは、

さっそく「役人さまや、どぶろくなんぞ造っていねやあ。なんなら爺さまを呼んでくるがら」と言うの家を出て、「爺さまやあ。酒横目来たよおーっ!」と大きな声で叫んだ。これを聞いた村の人たちは、そらあ来た、みんな酒を隠してしまいました。

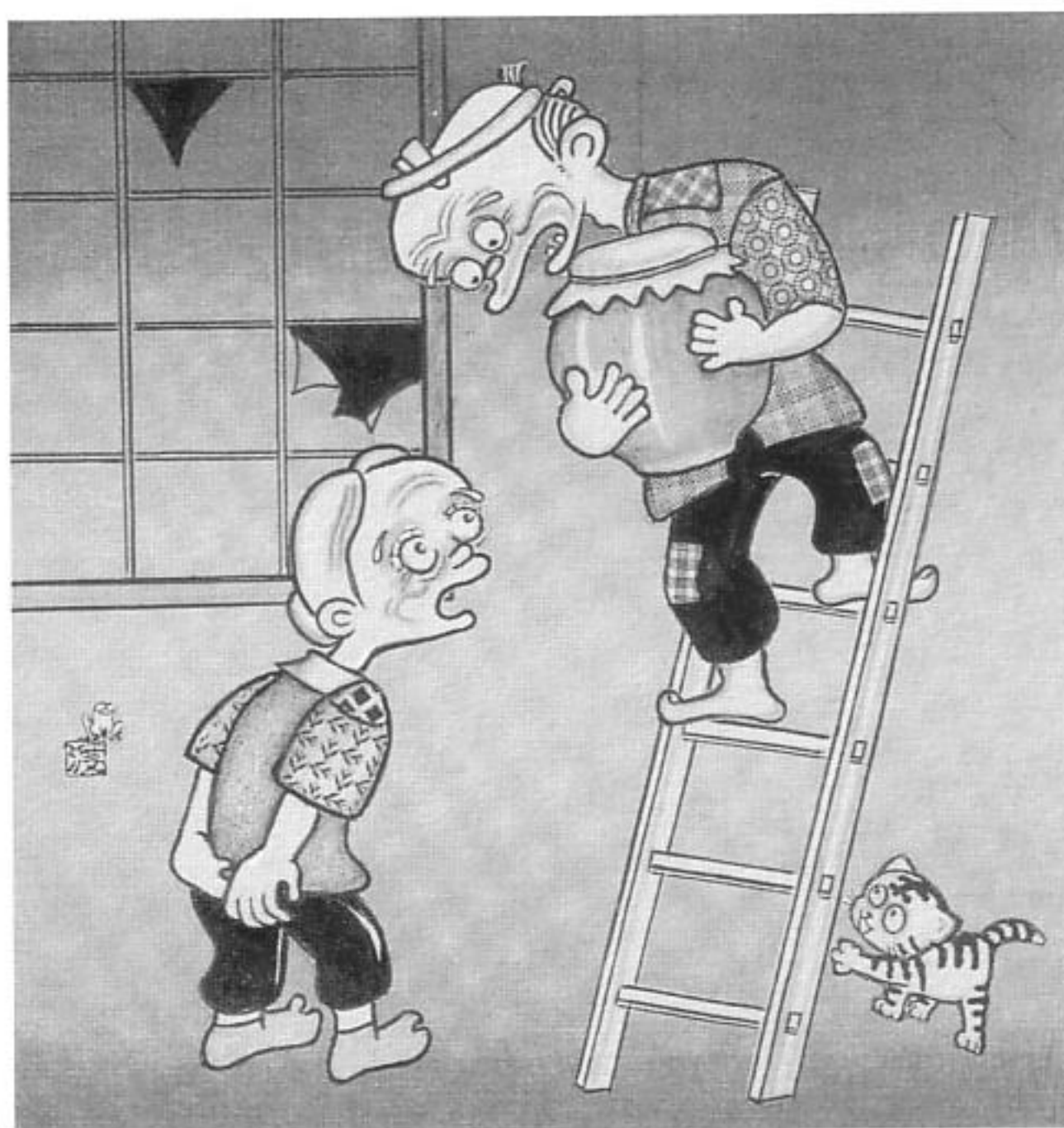
酒横目の役人は、しまったと口惜しがりました。婆さまは爺さまを探すふりをして、まんまと役人の来たことを村中に知らせたのです。

その晩、婆さまから話を聞いて気分が良くなった爺さまは、「どぶろく様も、天井裏でひやひやしていたらうな」と、はしごを登ってかめを下ろそうとしました。かめに手をかけてみたらなかなか重いので「婆さ

まや、とても重いのでけっち(おしり)を押さえてくれや」と頼んだ。はしごの下で婆さまは「ほいきた、押さえたよ」と答える。「ようし、離すぞ。」爺さまが手を離したとたん、かめはガジャンと落ちて割れ、どぶろくが全部流れてしまいました。与作爺さまは、かめのけっちを押さえろと言ったつもりでしたが、婆さまは自分のけっちを押さえていたのです。

正月が来ましたが、ひとたらしの酒もない与作夫婦の家に、村のみんなが酒を持って来てくれ、小正月が明けても飲みきれないほどかめいっぱいとなり、二人はとても良い年を迎えたということです。

(文と絵 石渡力造氏)





郷土の野草

東由利

NO.190

文・写真 小松忠正氏

クサフジ

(マメ科)

日本全土のみならず、北半球の温・暖帯の野原や路傍に広く分布するツル性の多年草で、他の植物にからまりついて伸びることが多く、濃緑色で10〜13対ほどの羽状複葉と、長楕円形(披針形)になって先端が分枝して巻きひげになっている小葉の様子や、紅紫色(時には青紫色)の唇形の美しい蝶形花は人の目を惹きつけます。

全草がやわらかく、花のころに採取して乾燥させ、煎服すると利尿の効果があるといわれています。

(写真は寺田付近で撮影)

12月▶データ東由利

〈10/1〜31〉

() は前月比

住民基本台帳

	月末人口	前月比
男(人)	2,469	-4
女(人)	2,627	-5
計(人)	5,096	-9
世帯数(戸)	1,392	1

	月間異動人数	1月からの累計
出生(人)	2	41
死亡(人)	8	97
転入(人)	3	83
転出(人)	6	141

消防・交通

	月間発生数	1月からの累計
火災出動(件)	0	4
救急出動(件)	9	139
交通事故(件)	1	7
死亡(人)	0	0
傷者(人)	1	7
飲酒運転(件)	0	0
酒気帯び(件)	1	8

12月の行事予定

- 4〜 家庭バレーボール交流大会(〜1月下旬)
- 5(火) 食生活改善教室
- 6(水) 予防接種(ツベルクリン反応)
- 7(木) 機能訓練教室
- 8(金) 予防接種(BCG)
- 13(水) 議会定例会初日
乳児健診
- 15(金) 1歳6ヶ月児健診
- 17(日) 高橋宏幸賞童話
秋田県コンクール表彰式
- 20(水) 機能訓練教室
- 23(土) 天皇誕生日
サンタフェステバル
- 25(月) 小・中学校終業式
- 25〜1/14 高橋宏幸賞入賞作品展
(ふれあいプラザぷれっそ)
- 28(木) 役場仕事納め
- 1/4(木) 役場仕事始め

戸籍の窓口

(10月21日〜11月20日届出)

●お誕生おめでとう

10/24 高橋 陽太くん(栄樹)須郷

●ごめい福をお祈りいたします

10/21 高橋 義勇さん(65)シゲ子・夫・寺田

10/27 阿部久次郎さん(80)久一・父・十二ノ前

10/28 高橋 福代さん(88)隆男・母・下小路

10/30 阿曾 トミさん(62)肇・妻・宇戸坂

11/4 小松 チヨさん(89)秀穂・母・湯出野

11/5 高橋 啓子さん(68)一成・妻・舟木

11/7 小松キヨノさん(90)宣・母・五海保

11/17 工藤 倫子さん(51)保春・妻・蔵新田

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

読者からの投稿

投稿者 松柴 古 関 ナツイさん



「6月ころ名古屋の娘が植えて行ったかぼちゃですが、9月末に見たこともないものになってびっくり。そのあと聞いたらホワイトズッキーニという名前で、食べられるんだそうです。きれいなのでしばらく飾ってから食べます。」

お礼

広報送付謝礼として次の方より金一封をいただきました。ありがとうございます。ありがとうございました。

佐々木眞子さん(本荘市)、板垣千賀子さん(本荘市)、在京宿小会社会福祉協議会に次の方よりご芳志が届けられましたのでご紹介します。

高橋隆男さん(下小路)、小松由夫さん(五海保)、小松秀穂さん(湯出野)



ほっとひといき

◆師走になり、すっかり寒くなりました。11月の中旬には初雪も降りました。季節の変わり目に風邪などひかなかったでしょうか？私は例年気を付けてはいるのですがやっぱり今年もひいてしまいました。◆もうすぐクリスマスや大晦日がやって来ます。今年は世紀も晦日を迎えますので特大晦日とでもいうのでしょうか？いよいよ新世紀をみなさんと一緒に迎えることになりました。21世紀は1人1人が主役となって東由利を、そして日本や世界の未来を考えて行く時代ではないでしょうか。